

# 農林水産商工常任委員会提出資料

(令和2年10月6日)

項目		ページ
1	ため池ハザードマップを活用した防災訓練（日野町上菅地区）の 実施について 【農地・水保全課】……………	1
2	主要農産物の生産販売状況について 【生産振興課】……………	2
3	令和2年産星空舞の生産状況及び販売について 【生産振興課、食のみやこ推進課】……………	4
4	第65回鳥取県植樹祭の開催について 【森林づくり推進課】……………	5
5	首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の運営状 況について 【販路拡大・輸出促進課】……………	6
6	一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課】……………	7

農 林 水 産 部

## ため池ハザードマップを活用した防災訓練（日野町上菅地区）の実施について

令和2年10月6日

農地・水保全課

大雨や地震などの災害によりため池が決壊するおそれがあることから、地域住民の安全な避難行動に資することを目的として、日野町上菅（かみすげ）地区において、ため池ハザードマップを活用した防災訓練を実施しました。

- 1 日 時** 令和2年10月4日（日）午前9時～10時  
※日野町主催の「全町一斉防災訓練」の一環として実施
- 2 場 所** 日野郡日野町上菅
- 3 参 加 者** 下上菅地区自治会（19名）、日野町、鳥取県、鳥取県土地改良事業団体連合会  
※日野町は「全町一斉防災訓練」としての参加

### 4 実施内容

実施項目	実施内容
住民による避難行動訓練 （下上菅地区自治会）	・地震発生を想定し、日野町が防災行政無線で避難を呼びかける。 ・防災行政無線放送を受け、ため池決壊等のおそれがあるとの想定で住民が自宅から下上菅集会所まで避難する。
ため池ハザードマップの確認 （下上菅地区自治会）	・下上菅地区にある「大畑（おおはた）第2池」のため池ハザードマップについて自治会代表が説明を行う。 ・浸水想定エリアや避難経路、避難場所等について確認する。
災害時の避難行動の説明 （県農地・水保全課）	・令和元年7月に発生した局地豪雨の事例を参考に、災害時の避難行動等について説明する。
訓練振り返り	・アンケートによる訓練の振り返りを行う。

【参考】大畑第2池の概要 ※防災重点ため池

〔堤高〕5.0m、〔堤長〕65.0m、〔総貯水量〕4,300m<sup>3</sup>

〔浸水想定範囲の主な施設〕住家（1棟）、国道180号線、町道（避難経路）、JR伯備線

### 5 訓練成果等

- ・ため池ハザードマップを地域住民に確認していただき、ため池の危険性や、決壊時の浸水想定範囲、避難経路、避難場所等について改めて認識していただいた。
- ・ため池に関する防災訓練の実施を通じて、ため池に関する防災意識の醸成を図ることができた。  
（参加者全員が、今回の訓練が災害時の適切な行動に「役に立つ」又は「ある程度役に立つ」と回答）  
＜参加者の主な意見＞
  - ・訓練で色々知ることができてよかった。
  - ・日頃から防災意識を持たないといけないと思った。
  - ・テレビ等で災害を見るたびに怖いと思っていたので、これからも注意していきたい。
- ・引き続き市町と連携してため池の防災訓練の取組を進め、ため池に係る防災対策向上を図っていく。



ため池決壊のおそれを想定した避難行動



参加住民によるハザードマップの確認

# 主要農産物の生産販売状況について

令和2年10月6日  
生産振興課

9月30日現在の主要農産物の生産販売状況等について報告します。

## 1 水 稲

### (1) 作柄概況

田植期以降、高温・多照で推移したものの、7月の低温・日照不足の影響もあり、穂数及び1穂当たり籾数が「平年並み」であったことから、全籾数は「平年並み」となった。

登熟は、籾数が「平年並み」となったこと、梅雨明け以降、高温・多照に推移したことから、「平年並み」と見込まれ、9月15日現在の作況指数は101（平年並み）と見込まれている。

(単位：kg/10a)

区 分	ふるい目(1.70mm)	農家等が使用しているふるい目		
	予想収量	予想収量	平年収量	作況指数(作柄)
<b>鳥 取 県</b>	<b>520</b>	<b>501</b>	<b>495</b>	<b>101(平年並み)</b>
中国地区	503	479	495	97(やや不良)
全 国	539	517	512	101(平年並み)

※農林水産省大臣官房統計部 令和2年9月30日公表

### (2) 収穫の概況

- ・早生品種のコシヒカリ、ひとめぼれの収穫は7割程度終了した。
- ・星空舞の収穫は9月中旬から始まり、10月上旬が収穫最盛期の見込みである。
- ・中生品種のきぬむすめは、9月末から収穫が始まり、10月上・中旬が収穫最盛期の見込みである。

## 2 梨

### (1) 生産状況

- ・二十世紀、新甘泉とも4月の交配時期やその後の低温等により、初期生育に影響を及ぼしたが、梅雨明け後の好天により収穫時には十分に味の乗った梨に仕上がった。
- ・二十世紀は、栽培面積の減少、交配不良による着果数の微減及び小玉傾向(2L以上の割合65%(前年82%))等により数量は前年を大きく下回っている。
- ・新甘泉は、栽培面積が増加しているものの、小玉傾向等により、数量は前年を下回っている。

### (2) 販売状況

- ・単価は、二十世紀、新甘泉とも前年を大きく上回った上、過去最高を記録した。
- ・販売額は、二十世紀は数量減のため前年を下回ったが、新甘泉は前年を上回っている。

【梨】面積 R2年(見込):445ha(R元:470ha)、生産者数 R2年(見込):998戸(R元:1,042戸)

品種	区 分	面積 (ha)	数量 (t)	単価 (円/kg)	販売金額 (百万円)
二十世紀	R2年度	234	2,195	508	1,115
	R元年度	255	3,586	375	1,346
	前年比	92%	61%	135%	83%
新甘泉	R2年度	78	511	625	320
	R元年度	75	592	485	287
	前年比	104%	86%	129%	111%

(全農とっとり調べ)

## 3 柿(輝太郎)

### (1) 生育状況

- ・猛暑により生育がやや遅れているが、果面は綺麗な柿に仕上がっている。
- ・大きさはやや小玉(299g)で、糖度もやや低め(14.4度)の結果となった。

## (2) 販売状況

- ・初販売は10月1日に決定され、出荷は10月下旬まで続く予定である。
- ・販売計画では、出荷量111t、販売金額63百万円（前年比119%）を計画している（全農とっとり取扱）。

## 4 白ネギ

### (1) 生産状況

- ・白ネギ（春）は暖冬により、生育は順調であったが、白ネギ（夏）は6月下旬以降の降雨による収穫作業等の遅れや8月以降の猛暑による細物傾向となったため、9月末時点、数量は前年並となっている。

### (2) 販売状況

- ・単価及び販売額は前年を上回っている。

【白ネギ】面積 R2年(見込):387ha(R元:388ha)、生産者数 R2年(見込):979戸(R元:987戸)

区分	面積 (ha)	4月1日～9月30日までの販売実績(累計)		
		数量(t)	単価(円/kg)	販売金額(百万円)
R2年度	387(見込)	2,543	432	1,099
R元年度	388	2,585	360	931
前年比	100%	98%	120%	118%

(全農とっとり調べ)

## 5 今後の対応

- ・現時点の販売状況について、梨、白ネギとも新型コロナウイルス感染症による影響は顕在化していない。
- ・引き続き、今後の秋冬野菜、梨及び柿等について、農業団体との連携のもと、新型コロナウイルス感染症の状況や気象情報、市場価格の動向及び生産現場の状況等を見極めながら、対応を検討していく。

### 【参考】 コロナ禍での農業団体の主な販売促進活動

- ・大阪中央卸売市場とJA鳥取中央本所をリモートで結んでの二十世紀梨初販セレモニーの開催（全農とっとり）。
- ・インスタ「鳥取くだもの応援隊」では「いいね、フォロー」で梨のプレゼント（全農とっとり）。
- ・平井知事、寺地東郷果実部長出演の「鳥取梨を食べようフォトキャンペーン」PR動画の作成（JA鳥取中央）。

# 令和2年産星空舞の生産状況及び販売について

令和2年10月6日  
生産振興課  
食のみやこ推進課

昨年から生産を推進している、本県オリジナル水稲品種「星空舞」について、本格生産2年目となる令和2年産の生産状況と販売の概要を報告します。

## 1 生産状況について

県内全域に38箇所の実証ほ場を設け、JAと県で定期的に巡回調査を行っている。8月31日から9月4日の巡回調査によると生育は概ね順調で、9月中旬に刈取りが始まり、約5,000トンの収穫を見込んでいる。

### 【R2年産の作付面積】

	R2年産（未確定）	R1年産	H30年産
作付面積（ha）	1,036	366	5.1

## 2 星空舞のPRと販売について

令和2年産米の販売方針は、関西を中心として、東京、中京、中国、四国、九州などへも販路を拡大していくとともに、飲食店向けの需要拡大も進める。また、インターネット販売（Amazon等通信販売、ふるさと納税等）についても、継続して進めていく。新型コロナウイルス感染症の影響で試食宣伝による集客ができないため、SNSを活用したPRや、感染症対策をとりながらパックご飯の配布等、昨年とは異なった販促活動に取り組んでいる。

### 【情報発信】

#### ○出発式(9月29日)

- ・各JA組合長出席により、全国への星空舞新米の出発式（テープカット）を、JA鳥取中央管内カンントリーエレベータで開催した。また同日に、星空舞の初荷を積んだトラックが全国へ向けて出発した。

#### ○県内テレビCM放映開始

- ・10月1日より、新CMの県内放映を開始した。
- ・「気持ちを米（こめ）て」をキーワードに、都会で暮らす娘が、母から届いた星空舞により、ふるさと鳥取を想うという構成となっている。

#### ○大阪新米PRイベント(10月24日)

- ・大阪駅アトリウム広場において、星空舞の販売イベントを開催予定である。
- ・ルクア大阪（キッチン&マーケット）との連携で、星空舞や関連商品の購入者に星空舞ノベルティグッズ等をプレゼントする。（星空舞のお弁当、星空舞甘酒ドリンクの販売なども検討中）

#### ○東京でのPRイベント

- ・首都圏において、星空舞のPRイベントを検討中である。

### 【消費拡大】

#### ○「星空舞」が食べられるお店 認定制度の開始

- ・星空舞を継続的に使用していただける店舗を対象に、食べられるお店の認定制度を開始した。8月24日から募集を開始し、9月25日現在、県内外の10店舗を認定している。

#### ○県外米穀店での販売

- ・県外向けとして、スーパー等小売店のみでなく、小規模な米穀店でも販売を開始した。お米マイスター等によるテレビ番組等での紹介につながるなど、波及効果も期待できる。（ネプリーグ（フジテレビ系列7/13）、ソレダメ（テレビ東京系列9/9）、なないろ日和（テレビ東京系列9/29）等）

#### ○県公用車へのステッカー広告（10月8日～令和3年1月15日）

- ・新米キャンペーン（～令和3年1月15日）の期間に合わせて、県公用車の一部に鳥取県産米の消費拡大を呼びかける広告を掲出する。（星空舞×きぬむすめのデザインで構成（A3横：30cm×42cm））



鳥取県産「星空舞」が食べられるお店 認定シール

## 第65回鳥取県植樹祭の開催について

令和2年10月6日  
森林づくり推進課

植樹活動等を通じて森林の役割や大切さ、森・川・海のつながりを情報発信し、広く森林づくり活動に県民参加を呼び掛けるとともに、第64回全国植樹祭の成果を継承し、「とっとりグリーンウェイブ」の気運を更に高めるため、第65回鳥取県植樹祭を開催します。

なお、今回の会場は、(株)山陰合同銀行が「共生の森」として森林整備を行っている「ごうぎん希望の森・三朝」に隣接しており、協定地を植樹会場として提供していただきます。

- 1 テーマ 「カジカ鳴く 清流育む 森林づくり」
- 2 日時 令和2年10月31日(土) 午前10時から午後3時まで
- 3 場所 東伯郡三朝町横手 「ふるさと健康むら」
- 4 主催 鳥取県、三朝町、公益社団法人鳥取県緑化推進委員会
- 5 協力 鳥取県中部森林組合、株式会社山陰合同銀行
- 6 来場者数 県民、みどりの少年団など200人
- 7 開催概要

### ◇式典(午前10時から)

- ・オープニング 太鼓演奏(三徳山行者太鼓保存会 えん太)  
みどりの少年団入場行進

### ・表彰

#### ○県植樹祭テーマ

最優秀賞：森 勇樹さん(応募時 米子市)

優秀賞：石橋 瑠奈さん(応募時 湯梨浜町立羽合小学校5年)

#### ○鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰

智頭町森林組合(智頭町)

門脇 美正さん(倉吉市)

大瀬造林組合(三朝町)

竹内マツ植樹隊(境港市)

久代 宏一さん(日野町)

- ・森林・みどりへの思い発表  
みどりの少年団代表ほか
- ・代表植樹(みどりの少年団が育てたヤマボウシ)
- ・「第2回日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取」の開催PR



[第62回鳥取県植樹祭の一般植樹の様子]

### ◇参加者植樹(午前11時から)

シャクナゲ、ヤマボウシ、イロハモミジ、イタヤカエデを植樹

### ◇楽しく学ぶ体験イベント(午前11時から)

- ・木工教室
- ・三朝温泉謎解き宝探し

### ◇その他

- ・三朝町特産物等の販売、緑化苗木無料配布
- ・日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取、みどりの少年団による苗木スクールステイ、とっとり共生の森、J-クレジット及び県産材需要拡大への取組等のPR

## 8 新型コロナウイルス感染症の対策

感染症対策として以下の取組を実施し、事前にチラシ等で周知する。

- ・入場時の検温(37.5度以上の発熱がある場合、入場をお断りする)
- ・マスクの着用
- ・こまめな手指消毒(受付及び会場に消毒用アルコール設置)
- ・人と人の距離の確保
- ・緊急時連絡先の記入及び接触確認アプリ(COCOA)の事前ダウンロードのお願い

## ◆ 第66回(令和3年度)の開催予定地

令和3年5月15日(土) 日野町(滝山公園)  
(同町での開催は昭和56年以来、40年ぶり)

## 首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の運営状況について

令和2年10月6日  
東京本部  
販路拡大・輸出促進課

首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の運営状況等について、以下のとおり報告します。

### 1. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応状況

- ・4月7日の国の緊急事態宣言を受け、4月11日以降、臨時休館とした。
- ・5月25日の緊急事態宣言の全面解除を受け、6月1日から全館業務を再開した。
- ・業務再開を機に、レジ飛沫防止シートや消毒液の設置、配席やレジ動線等のフィジカルディスタンス確保、スタッフの体調管理等、あらゆる感染防止対策と実施宣言ポスターの掲示等を行っている。

### 2. 集客等回復策の実施状況

#### (1) 頑張ろう！鳥取・岡山「県産品販路拡大」キャンペーンの実施

新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる県産品等の消費喚起を図るため、物販・飲食店舗で利用できるクーポン券を提供するキャンペーン（9月1日～12月末予定）を実施している。

- ・会計金額に応じた次回使えるクーポン券（500円～2500円分）の提供
- ・新橋館会員にクーポン券付きDM（500円×2枚×2店舗）の送付（約7,000枚）
- ・県人会、関係企業等にクーポン券（500円×2枚×2店舗）付チラシの配付（約8,000枚）

#### (2) 旬の食材等の試食無料サービスの提供

物販店舗で販売している旬の食材（らっきょう、すいか）などを飲食店舗での食事に試食無料サービスとして提供するとともに、飲食店舗の入口に当該商品そのものを展示した。

※サービス期間（6月～9月）終了後も飲食店舗における物販店舗取扱食材の活用と展示を継続している。

#### (3) 2階飲食店舗のテイクアウト開始・デリバリー試行

テイクアウト需要の高まりに応じて、6月からご当地グルメや両県の食材をメインに使用したテイクアウトメニューを販売するとともに、7月からは試験的に都道府県会館（鳥取県東京本部・岡山県東京事務所）へ週1回デリバリーを実施している。

#### (4) とりおか6周年祭

とっとり・おかやま新橋館の開設6周年を記念して、物販店舗における両県産品6周年福袋の販売や空くじ無し抽選の実施、飲食店舗における「焼き梨とぶどうのパフェ」や「両県和牛の鉄板ステーキ」、「日本酒飲み比べセット」等の特別メニューを提供している。（9月1日～10月11日）

### 【参考】来館者数・売上金額の状況（対前年同月比）

（単位：人、千円、％）

区分	来館者数	売上金額（税抜）		
		1階 物販店舗	2階 飲食店舗	計
1・2月	67,343 (92.1)	33,775 (94.2)	11,269 (86.1)	45,044 (92.0)
3月	22,849 (60.0)	12,709 (68.9)	2,194 (33.2)	14,903 (59.5)
4・5月	4,916 (9.1)	3,581 (13.2)	191 (2.3)	3,772 (10.7)
6月	19,962 (48.0)	13,445 (65.1)	1,284 (16.8)	14,729 (52.1)
7月	22,404 (51.1)	16,315 (75.0)	3,464 (41.6)	19,779 (65.8)
8月	27,380 (66.8)	18,703 (90.2)	5,143 (69.2)	23,846 (84.6)
9月	32,670 (75.5)	28,152 (120.1)	5,374 (82.7)	33,526 (112.0)
計	197,524 (59.0)	126,680 (75.4)	28,919 (50.0)	155,599 (68.9)

※前年の平成31年4月はリニューアルのため、営業期間は26日(金)～30日(火)の5日間のみ。

※令和2年4月の営業期間は、1日(水)～10日(金)の10日間のみ。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和2年10月6日  
農地・水保全課

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
農地・水保全課 (中部総合事務所農林局)	般若区有ため池改修工事	倉吉市 般若	株式会社 チュウブ 代表取締役社長 小柴 雅央	(当初契約額) 109,080,000円	平成31年3月28日 ～ 令和2年1月14日	(当初契約年月日) 平成31年3月28日	【工事内容】 ため池改修工事 堤体工 掘削工 V=7,855m <sup>3</sup> 盛土工 V=7,116m <sup>3</sup> 盛土材改良工 V=4,236m <sup>3</sup> 残土処分 525m <sup>3</sup> 取水施設工 底樋工 L=10m 斜樋工 1式 付帯工 1式 仮設工 工事用道路設置撤去、水替工 1式 (-) 工事用道路法面植生工 A=1式  ○変更内容 地元調整により、工事用道路の一部を存置することとし、当該道路切土法面部の斜面安定を図るため、法面保護工(植生マット工)を追加する。	
				(第1回変更後契約額) 120,419,680円 変更額 11,339,680円	(変更後工期) 平成31年3月28日 ～ 令和2年3月19日	(第1回変更契約年月日) 令和2年1月10日		
				(第2回変更後契約額) 134,862,680円 変更額 14,443,000円	(変更後工期) 平成31年3月28日 ～ 令和2年7月31日	(第2回変更契約年月日) 令和2年3月10日		
				(第3回変更後契約額) 137,766,680円 変更額 2,904,000円	(変更後工期) 平成31年3月28日 ～ 令和2年9月30日	(第3回変更契約年月日) 令和2年7月27日		
				(第4回変更後契約額) 141,509,980円 変更額 3,743,300円		(第4回変更契約年月日) 令和2年9月25日		